

山盲だより「むつぼし」第12号

発行 平成28年3月11日

山形盲学校総務・広報部

1年間の活動を振り返って

P T A会長

今年も、多くの会員の皆さんの協力をいただき、友遊自然塾やバザー、研修会などのP T A行事を無事終えることができました。ありがとうございました。

今年はこのほか、新規事業として、11月14日に『点字ブロック理解推進事業』を山形駅で実施しました。この事業は、視覚に障がいのある方にとって大切な命綱となる「点字ブロック」の上に立ち止まったり、自転車や荷物などを置いたりすることのないように、広く県民の方々に呼びかけるもので、全国の盲学校で活動が広がっています。当日は、本校の児童が描いた絵と「私たちの大切な道」とのメッセージを添えた啓発グッズを配りました。大きな声を出して、一生懸命に配っている子供たちの姿を見て、とても感動しました。この活動は、盲学校である本校ならではのものであり、活動の目的を達するためにも、今後も継続して実施していく必要があると思いました。今年度は、山形駅、山形警察署、山形市役所など、多数の関係機関の方々からも御協力をいただきました。ありがとうございました。

会員数は少ないものの、みんなで協力し合い、これからもP T A活動を盛り上げていきましょう。

点字ブロック理解推進事業 平成27年11月14日(土) 場所:JR山形駅

みどりの窓口前で開会セレモニーを行い、その後、駅改札口前、東西自由通路、駅東口の3グループに分かれて広報活動を行いました。県内では、本校P T Aが初の試みです。

在校生と保護者、支援者は、点字ブロックの大切さを訴えるメッセージカードが封入されたポケットティッシュを配りながら、「点字ブロックに御理解と御協力をお願いします。」と、大きな声で呼びかけていました。通行する方々は足を止めて、快く話を聞いてくださる方が多かったです。

第39回県特別支援学校PTA連合会研修大会

平成27年10月2日(金) 山形県立村山特別支援学校にて

参加者 5名

「未来のために今できること」のテーマで研修が行われました。
参加された保護者の皆さんの感想を紹介します。

- ・ 今後の息子の生活、行動、対応について詳しくお話を伺い、親として勉強させていただきました。
- ・ 普段見ることのない他校の様子を見たり、他校の保護者の方と交流したりして、大変貴重な体験をすることができました。午後からは、思春期についてのお話も聞くことができ、これからの娘の成長について学ぶことができました。とても勉強になり楽しい時間でした。
- ・ 参加してとても良かったと思いました。「ラフターヨガ」では、みんなで笑い合うということでもとても楽しい時間を過ごしました。笑うことはとても良いことと教えていただきました。講演では、一人一人成長の仕方は違うけど、みんな道筋があって成長していく。人を信じる気持ちがあって、自分を信じる気持ちが生まれる。子どもの気持ちをしっかりと受け止めることが大事だという大切なことをたくさん気付かせてもらいました。

各学部の行事より

<幼小学部>

- ・ 全国かかし祭り——一人一体のかかしを作って出品！かかし祭りの見学も楽しかったです。
- ・ 親子行事——マインドパークで乗馬体験。親子で馬とふれ合いました。

<中学部>

- ・ 蔵王長寿園との交流学習——お年寄りに「とんと昔話」を聞いていただきました。
- ・ 上山市立北中学校との交流学習——生徒会役員選挙を参観しました。

<高等部>

- ・ 理療科・キャリア教育——筑波大学の先生を招いて、大学の授業を体験しました。
- ・ 普通科・フラワーアレンジメント体験——「私だけの世界に一つだけの花器」を作りました。

<寄宿舍>

- ・クリスマス会——クリスマス会のリーダーの二人。力を合わせて頑張りました。
- ・クリスマス会——赤か緑のひもを引っ張るとプレゼントがついてくる！どれにしようかな。

旅立つ3人からのメッセージ

◎学んだことを基礎として

高等部保健医療科 3年 男子生徒

私は、10年間をこの学校で過ごさせていただきました。中学部に入学した当初は、生徒数の少なさや学校が静かなことに大変驚いたのを記憶しています。また、初めての寄宿舍での生活にとっても不安を抱いていたことも覚えています。しかし、先生方のご助言、ご指導をいただき、そして、何よりも先輩方やクラスメイトに支えてもらい、楽しく生活を送ることができました。

保健医療科に進学してからは、難しい学習をしながら、本格的に陸上競技に取り組み、練習や大会に参加する中で、本校以外の多くの友人と出会うことができました。自分の世界観が広がるよい経験になりました。

卒業後は、あんまマッサージ指圧の技術や利用者様への対応、施術者としての心構えなど、本校で学んだ多くのことや人との出会いを大切に、これからの人生を歩んでいきたいと思います。これまで、お世話になりました。ありがとうございました。

◎3年間で振り返って思うこと

高等部保健医療科 3年 男子生徒

今から3年前、高校の恩師に相談したのがきっかけで、この山形盲学校に入学することができました。

入学したばかりの頃は、難しい勉強についていくだけでも大変で、がむしゃらに勉強しました。そして、寄宿舍での集団生活に慣れることができず、周りの人に迷惑を掛けていました。

あれから3年。そんな私でしたが、この学校でお世話になれる時間も残りわずかとなりました。

これまで、先生方、そして、共に学ぶ仲間、共に生活する舎の仲間から多くの知識と常識や職業人としての覚悟などを教えていただき、たくさんのことが学べました。

近い将来に、皆さんから「立派になった」と言ってもらえるように頑張っていきますので、どうぞ見守っててください。3年間、ありがとうございました。

◎6年間の感謝の気持ち

小学部 6年 女子児童

私はこの盲学校で、6年間いろいろなことを学んできました。小学1年生のころは、「この障がいのせいで、姉と同じ小学校に行けない、なんで障がいになんかなったんだ」と思っていました。でも、盲学校には、相談できる同じ障がいをもつ仲間がいました。先生方は私たちが勉強しやすいよういろいろ教えてくださいました。思い出もたくさんできました。中学は、この学校ではありませんが、学んできたことを忘れずがんばります。今までありがとうございました。

友遊自然塾 i n みはらしの丘

9月27日(日) 参加者42名

天候にも恵まれ、PTA会員のみならず、昨年度の旧会員・卒業生とも交流することができ、充実した事業でした。

編集後記

皆様のご協力により、山盲だより「むつぼし第12号」を無事発行することができました。お忙しい中、各方面でご協力いただきました方々、本当にありがとうございました。

(総務・広報部長)